

Wake Up, Girls! ~
短編の記録～

吉駄々

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

仙台を舞台にアイドルとして成長する7人の少女の物語

アニメ「Wake Up, Girls!」の短編集です。

アニメのキャラクターで物語は進行しますが中の人ネタも多少あります。

7人の少女と彼女らを取り巻く人間模様をほのぼのと書いて行きます。

どうかごゆっくり彼女らの様子をご覧ください。

目次

野球をやろう!!その1	1
野球をやろう!!その2	8
野球をやろう!!その3	12
野球をやろう!!その4	17
野球をやろう!!その5	28
野球をやろう!!その6	36
野球をやろう!!その7	40
野球をやろう!!その8	47
野球をやろう!!その9	52
野球をやろう!!その10	60
野球をやろう!!その11	65
野球をやろう!!その12	70

82 野球をやろう!!その13
———
野球をやろう!!その14 (完結)

野球をやるう!! その1

8月某日〓楽〇生〇パーク宮城〓

真夢「藍里〓、始球式お疲れ様」

藍里「あ、まゆしい、よっぴーお疲れ!」

佳乃「お疲れ〓」

真夢「凄いね、ほぼノーバンだったじゃん」

藍里「これもマイスパイクとマイグローブのお陰かな。二人も国歌斉唱凄かったよ」

佳乃「もの凄く緊張した〓!」

真夢「そうだね。あれだけのお客さんに見られるといつもとは違うよね」

藍里「ふふ、お疲れ様♪」

松田「みんな、お疲れ!」

真・藍・佳「お疲れ様です!!」

丹下「あなた達とても良かったわ!これで次の仕事もバンバン来るわね!!」ビール
カツプグシヤ

松田「社長・・・偉い人の目とかあるんだからちよつとは控えて下さいよ」

丹下「いいのよ!これから忙しくなるわよ!!」

松田「もう出来上がってるよ・・・」

球団関係者「丹下さん、ちよつとよろしいですか？」

球団関係者「こちら東京の〇〇TVの・・・実はカクカクシカジカ・・・いかがですか？」ヒソヒソ

丹下「本当ですか!?是非お願いします!それで勝つた際は・・・」ヒソヒソ

真夢「松田さん、私達これからどうすればいいですか？」

松田「ん、ああ、ごめんごめん。とりあえず控室に行こう」

松田（何話してるんだろう?嫌な予感がする・・・）

始球式から数日後くレッスンスタジオく

丹下「みんな今日のレッスンお疲れ様!」

全員「お疲れさまでした!!」

丹下「実はみんなにビッグニュースがあります!!」

実波「ビッグニュース？」

菜々美「ひよつとしてライブのツアーをやるとか!？」

未夕「わあ〜！楽しみです〜！やっぱり全国を回るんですかね！
ね、かやたん！」

夏夜「あんたはちよつとはしやぎすぎ」

未夕「うう、怒られました〜」

松田「ほらほらお前ら、ちゃんと聴こう」

丹下「実はこの前の始球式の際に球団の偉い人と東京の〇〇TVの方に会いしてね。」

今度“ “ I l l C l u b V S W a k e U P , G i r l s ! ガチンコ野球
対決” “ の収録をやる事になったのよ!!」

全員「ええええええええええええええええええええええええ!!!!」

松田「ちょっと社長！俺何も聴いてないっすよ！」

丹下「当たり前でしょ、初めて言ったもの」

松田「そんな・・・」

丹下「それでね、勝った方のチームには賞金として1億円と副賞でレギュラー番組が貰えるのよ!!」

真夢「なんだか話が壮大になってきたね」

藍里「私、1億円なんて大金想像できないよ・・・」

佳乃「それより副賞のレギュラーだよ！」

東京のレギュラーだなんてこれはチャンス！」

実波「でも私野球やったことないよ」

菜々美「私も、バットさえ振ったことないのに番組的に大丈夫かな」

未夕「きつと大丈夫ですよ！藍ちゃんもいることだし、無敵ですよ！！」

夏夜「あたしもコントロールには自信あるんだ。ちよつと楽しみ♪」

丹下「目指すは勝利のみ！絶対勝つわよ！！」

松田以外「おおお〜！！」

松田「なんで皆そんな乗り気なんだ・・・」

白木「え、人数の都合上、博多のネクストストームもこちら側のチームに入ります」
里佳（志保さんと会えるんだ♪）頬緩み

白木「同じ舞台（グラウンド）で戦うこと、これすなわち戦いです！
こてこてのぱんぱんにしてやりましょう！

それでは最後にいつものアイドルの心構えを復唱して終わりたいと思います」

白木「休まない！愚痴らない！考えない！」

全員「休まない！！愚痴らない！！考えない！！」

白木「いつも感謝！」

全員「いつも感謝！！」

白木（目のハイライト消えた時ヤバかったああ！）スタスタ

博多ネクストストームくレッスンスタジオく

志保「え、野球ですか？はい：はい、分かりました」携帯ピッ

綾「志保さん、どうかされたのですか？」

志保「うん、実はね、今度仙台でWUGとI—Iで野球対決の企画をする事になった
のよ」

能重「どうして野球なんですか？」

志保「それは分からない…私達はIーIーと同じチームね」

日向子「よーし！がんばるぞ!!」オオオ!!

志保（フフ、可愛いなあ）

仙台く某ファミレスく

大田「オイーツス！」

浅津、屋沢、城本「オイーツス!!」

大田「今度、我らWUGちゃんとIーIーClubが楽Okobastadium宮城でガチンコ野球対決の収録がある事が発表されました！」

浅津、屋沢、城本「オイーツス!!」

浅津「それに伴い、既にチケットをゲットしました！」

大田、屋沢、城本「オイーツス!!」

屋沢「今回、WUGちゃんは宮城のアイドルという事でホームチーム側のベンチです
！」

大田、浅津、城本「オイーツス!!」

城本「3 塁側の内野席なので、我ら WUG ちゃん達が良く見えるいい席となってます！」

大田、浅津、屋沢「オーーーーッス!!」

大田「そのいい席に乗じて他のファンに迷惑をかけたたり、あまつさえ、WUG のメンバーに迷惑を かけること無き様、ワグナーに相応しい節度ある態度で臨みたいと思います！」

浅津、屋沢、城本「オーーーーッス!!」

店員「静かにしてもらえませんか！」

大田、浅津、屋沢、城本「す、すいません…」

野球をやろう!!その3

本番当日〽楽〇k o b a スタジアム宮城〽

丹下「さあ、あんた達いよいよ本番よ!」

佳乃「あれから皆でバッテリーングセンターに通って特訓したんだから!
だ、大丈夫だよね」

夏夜「よっぴー緊張しすぎ」

佳乃「だつて〜:」(≡|≡)(≡)

美波「顔赤い、よっぴーかわいい」

菜々美「私が華麗にヒットを決めちゃうんだから!」

未夕「ななみん、頼もしいですね〜、期待してますよ」

藍里「皆で絶対に勝とうね!」

真夢「うん、勝ちに行こう」

佳乃「行くぞ!」

夏夜「がんばっぺ!」

WUG「Wake Up, Girls!!」

（I-I-Iサイド）

麻衣「志保！久しぶり！」

志保「久しぶりね、そっちはどう？」

麻衣「相変わらずよ。それより今日の収録はいつも以上に気合い入れていくよ」

志保「そりや当たり前でしょ。WUGとの差を見せつけてやるんだから」

愛「しほっちもまいまいも楽しくやろうよ・・・」

萌歌「萌歌、野球なんて興味ないんだけど」

玲奈「もう、また萌歌はそういう事言う！」

菜野花「そうだよ、それにこの収録で活躍すれば次期センターになる確率も上がるんじゃない？」

萌歌「しょ、しょうがないわね！やってやるわよ！」

ティナ（ちよろいな）

里佳「志保さん！今日はよろしくお願ひします！」

志保「久しぶり。一緒に頑張るわよ」

里佳「はい！頑張ります!!」(≡▽≡)

綾「ムムム!!」

能亜「なんだか・・・」

日向子「モヤモヤする・・・」

志保「皆も今日はよろしくね」

綾・能亜・日向子「精一杯応援します!!」(／▽／)

麻衣「誰よりも激しく！誰よりも美しく！誰よりも正確に！

I-I club、行くぞ！」

I-I「オオオオー!!!」

く収録開始く

ホットドッグ「全国のI-I、WUGファンの皆さん、こんにちは！

いよいよアイドル同士のガチンコ野球対決が行われます。運命の女神はどちらに微笑むのでしょうか!?司会及び実況を務めますは私ホットドッグ、そして解説は世界的に有名な音楽プロデューサー、早坂相さんです！

早坂さん、今日はよろしくお願ひします」

早坂「よろしく」

ホットドック「いよいよゲームが始まりますがここで今回のガチンコ野球対決のルールを説明します！イニングは5回まで、某リアル野球盤とルールは一緒です！先行後攻は仙台がホームのWUGチームが後攻、

以上になります。」

早坂「この対決で勝利したチームには賞金として1億円と新しいレギュラー番組が副賞として送られる。

おいもちゃんが勝つのかI—1が勝つのか、まあ、勝った方が真のアイドルってこと。」

ホットドッグ「各チームの打順は以下の通りです！」

Wake Up, Girls!

1番：七瀬佳乃

2番：林田藍里

3番：岡本未夕

4番：島田真夢

5番：菊間夏夜

6番：久海菜々美

I—1 Club

1番：近藤麻衣

2番：吉川愛

3番：相沢菜野花

4番：岩崎志保

5番：小早川ティナ

6番：鈴木玲奈

7番：片山実波

7番：鈴木萌歌

ホットドッグ「それでは各チームのリーダー意気込みをお願いします！」

佳乃「全力で勝ちに行きます！」

麻衣「絶対に勝つて真のアイドルの称号を手に入れます！」

ホットドッグ「さあ、プレイボールです!!」

野球をやるう!!その4

〈1回表〉

ホットドッグ「さあ、始まりました!ガチンコ野球対決!

打席には先攻のI-I-C-u-b、リーダーのまいまいこと、近藤麻衣が入ります!!」

麻衣「Wake Up, Girls!!!」

佳乃「え、何々!」

麻衣「アイドルの祭典では良くもやってくれたわね!覚悟しなさい!!」

ホットドッグ「なんとここで宣戦布告です!」

夏夜「どうする?絞める?」

未夕「か、かやたんそれだけはダメですよ」(汗)

菜々美「そうよ!暴力はダメ!」

真夢「とりあえず、球種何投げるかキャッチャーの人に伝えなきや。

藍里、選球任していい?」

藍里「うん、いいよ。速いストレート行きます。」

ホットドッグ「マシンが第1球を投げました！」

審判「ストライク！」

ホットドッグ「初球、速い真つ直ぐが決まりました！」

麻衣「結構、速い球じゃない。でも打つ！」

実波「私、あの球打てるかな〜？」

佳乃「ちよつと怖いかも・・・けど、頑張ろう！」

藍里「次、遅いストレート行きまーす。」

ホットドッグ「2球目投げた！」

カキン！

ホットドッグ「おつと、ファースト方向へ打ち上げた〜、そのまま落下しアウトです」

麻衣「くっつ！」

藍里「打ち取った！やったね！」

ホットドッグ「続いて2番、よしめぐの愛称で親しまれている吉川愛です！」

愛「真夢!!」

未夕「まゆしい、呼ばれてますよ」

真夢「愛、どうしたの？」

愛「この試合にイーイーが勝ったら、後で宮城を案内して？」

藍里「ちよつと待ったろ！真夢はこのあと私達と祝勝会するの！」

愛「真夢と一緒にいるのは私〜！」

藍里「私だよ〜！」

真夢「ちよつと二人共、喧嘩はやめて」

愛、藍里「まゆ（しい）は黙ってて!!」

真夢「は、はい!!」

ホットドッグ「両者、吉岡選手の取り合いで面白いことになってきました！」

藍里「キャッチャーさん、速いストレートで！」

ホットドッグ「初球投げた！」

カキン！

ホットドッグ「フラフラとあがったボールはファーストへ落ちました！」

審判「アウト！」

愛「次は絶対に打つんだからね！」

ホットドッグ「1ー1チーム2アウトになりました！迎えるバッターはへっばこ番長の異名を持つ

なのかすこと、相沢菜野花です。おっとここでWUGの久美選手と岡本選手が出てきました！」

菜々美「いわし御殿ではお世話になりました！」

未夕「今は、あの時の私達ではありませんよ！」

菜野花「あはは、負けないよ〜！」

藍里「カーブでお願いします」

カキン！

ホットドッグ「高々と上がった打球は左中間！これはヒットゾーンに入るか!？」

菜野花「行った!？」

夏夜「嘘!？」

ホットドッグ「手前に落ちて止まってしまった！3アウトチェンジです！」

早坂「意外な展開だね、僕はIーIが先に先制すると思ったんだけど」

くI回裏く

太田「いよいよWUGの攻撃だ！気合い入れて応援すつぞ!!」

浅津、屋沢、城本「おIーIつす!!!」

ホットドッグ「I回の裏、WUGチームの攻撃に入ります。一番はリーダーのよつびーこと、七瀬佳乃です！」

佳乃「お、お願いします！」

審判「プレイ！」

志保「ボールどうする？」

麻衣「相手の様子見るって事で遅い真っ直ぐで」

ホットドッグ「初球投げました！」

カキン！

ホットドッグ「打った〜！良い当たりだ、左中間！2ベースヒットだ〜！」

実波「やった〜！幸先良い!!」

愛「詰まっていたのにね」

菜野花「切り替えていこ！」

ホットドッグ「長打が出れば先制点。チャンスを作りましたWUG！」

藍里「皆、多分私の所でカーブ来ると思う」

未夕「打って打って打ちまくって下さい！」

藍里「分かった！見ててね！やってきちやうよ！」

早坂「変化球を打てるかが勝負のポイントだね」

藍里「なんでも投げてきなさい。カモン!!」

イー「カーブ行きま〜す」(笑)

ホットドッグ「予告カーブだ！どうなるか林田藍里！」

ホットドッグ「ノーアウト2塁でピッチャーからカーブ来た！」

カコン

ホットドッグ「バットに当たったがボテボテのサードゴロでアウト！」

藍里「凄いカーブだった。このカーブ凄い！」

ホットドッグ「1アウトですが、ここでバッターは3番岡本未夕！その身体能力の高さから

長打が期待できます！」

ティナ「次ヤバイね」

玲奈「初回から敬遠したいね」

萌歌「速い真っ直ぐで行こ！」

カキン！

ホットドッグ「速い球打ったがファーストライナーでアウト！2アウト！」

麻衣「助かったね」(汗)

未夕「ううう、悔しいです！」

真夢「未夕、惜しかったね、次々！」

ホットドッグ「ここで元1ー1センターの島田真夢です！WUGが4番の仕事を初回の場面で託した！」

早坂「2番の林田、3番の岡本が凡退してるからここは大事だと思っけどね」

志保「何行く？」

麻衣「真っ直ぐ待ってそうだね」

志保「じゃあカーブ行きまーす」

カコン

ホットドッグ「勝負のバッターボックス、打った！ゴロで切れるファールです」
菜野花「鬼のカーブ攻めで行っちゃおう？」

カキン！

夏夜「セカンドの頭抜けた〜！」

ティナ「え、ヤバイ！」

ホットドッグ「ボールは転がっていくぞ！3BHゾーンに入りました！」

真夢「マジで!?!やったで!!」

菜々美「やった！先制点ね!!」

実波「なんで関西弁か分からないけどまゆしいおめでとう！」

ホットドッグ「WUGチームに先制点が入りました！尚も2アウト3塁。迎えるは菊

間夏夜がバッターボックスに入ります！」

夏夜「もう1点！もう1点！」

萌歌「そんな力んでたら打てないんじゃない」

夏夜「なら何がなんでも打ってやろうじゃねえか！」

ホットドッグ「挑発に乗った！大丈夫なんでしょうか！」（笑）

夏夜「でもね、バッティングセンターの打率私良かったの！あいつ知らないだけだから！」

ホットドッグ「事前情報によりますと練習時の打率は3割をマーク！意外性が持ち味です！」

松田「ファンが見てるぞ…」

夏夜「キツ！」（[?]。D_?）

松田「ひい！スタンドにいるのになんで」

丹下「あんた馬鹿ねえ」

カキン！

ホットドッグ「さあ、遅い球を打った！ファースト抜けた！2BH！更に1点追加だ

!!
」

夏夜「どんなもんよ!」

実波「かやたん、怖いよ」

夏夜「I-Iの鈴木萌歌!乗らせてくれるぜ!」

萌歌「あいつマジムカつく!」

玲奈「あつちの人もだけど萌歌もちよつと抑えてね」

佳乃「かやたんやったね!けど調子乗りすぎ」

夏夜「ごめん、帰ってきて今すごく反省してる…」

佳乃「冷静にね。でもすごいね!ななみんも頑張れ!」

ホットドッグ「ここで6番の久美菜々美が登場!繋げるか」

麻衣「カーブで攻めよう!」

カキン!

ホットドッグ「ボールに合わせた!I-B-Hヒット!」

菜々美「やった!やった!当たったわ」

藍里「ななみんやるね!」

早坂「続くバッターは片山実波。1番に回せるかな」
愛「もういつちよカーブで行こう！」

カキン！

！
「
ホットドッグ「打った！ファースト超えて1BH！WUGチームに3点目が入ります」

実波「私も打てた！」

未夕「みにやみ！センスありますね〜」

〜
〜

ホットドッグ「1番七瀬が凡打に終わり、WUGに3点が入り1回の裏が終わります。
2回表、1ー1チーム追いつけるか!？」

野球をやろう!!その5

〈2回表〉

ホットドッグ「さあ、3点を追いかける1ー1の攻撃。

この回先頭は岩崎志保!」

真夢「志保はここ一番って所で強いから、なんか揺さぶりをかけたいね」

藍里「力ませて凡退だね」

早坂「1ー1のセンターで見せ場だから、ここは1ー1、一本打たないとだね」

未夕「しほっち!……さん!」

志保「集中してるんだけど、出てこないで」

未夕（。 ㇿ ）

会場爆笑

ホットドッグ「動じません!むしろ岡本がビビってます!」

大田「みゅーちゃん負けんなー!!」

夏夜「なにになに?（笑）」

未夕「集中してんだ！ボケカス」って言われました…しよぼぼーん…」

夏夜「はいはい」ナデナデ

ホットドッグ「良いものを見せていただきましたが真剣勝負の岩崎志保、燃えています！」

未夕「こうなったら速いストレート行きます！」

ホットドッグ「まずは塁に出たいがどうだ!?!」

カキン！

ホットドッグ「打った！鋭い当たりが抜けていく！打球に勢いがある3BH！

岩崎志保、センターの意地を見せた！」

佳乃「うわー、打たれた…」

志保「こっから！こっから！」

ホットドッグ「1―1チーム勢いが出てくるのか。5番、1―1のセクシー担当、小

早川ティナ！」

菜々美「段々、顔が本気になってきたわね。ストレートで！」

ホットドッグ「一打出れば1―1、1点返せるがどうだ!?!」

カキン!

ホットドッグ「打った〜! 痛烈な当たり! 左中間どこに飛んでいく!?

タイムリー2BHだー!!」

ティナ「思ったより良く飛んじやった?」

ホットドッグ「ファンサービスも欠かさない! これで1―3!」

〜2回裏〜

ホットドッグ「2回表、W鈴木と近藤が続かず1―3で1点を返した1―1チーム。」
そして2回裏、1死2塁の場面で4番の島田だ!」

藍里「まゆしい、頼むよ!」

真夢「あつさり返すで〜」

ホットドッグ「打席に向います島田、独特なステップで余裕な様子!」

真夢「かかってくるなさい」

ホットドッグ「速球を打った! ボテボテのゴロがセカンドを抜けていく、2BHなるか!」

玲奈「嘘でしょ!？」

ホットドッグ「島田タイムリー2BH!今日は大当たりだ!」

萌歌「くやしいー!!」

真夢「2-2!」

麻衣「ショボいあたりね」

ホットドッグ「I-I-Iを挑発していく島田、尚も1死2塁で菊間、この勢いを繋げた
い!」

夏夜「バットに気持ちを含めて、猛打炸裂!」

愛「ねえねえ、球種ボタンの隣の赤いボタンってなんだろう?」

菜野花「あ、それはおしty」

愛「えい!」

ビュン!

審判「ストライク!」

ホットドッグ「なんと、吉川愛禁断の160km/h ストレートを押してしまった

!

驚いた菊間は腰を抜かしている!」

会場爆笑

菜野花「めぐ、言い終わる前に押しちやだm」

愛「・・・」ポチツ

ホットドッグ「今度はスプリットだ!完全におもちゃと化しています!」

菊間「スプリットね、ちょうだい!ちょうだい!そういうのちょうだいもつと!」

菜野花「もういいわ、速いの行こう」ポチツ

カキン!

ホットドッグ「140キロ来たが、打った!どうだ!?!いい当たりだが、

なんとここでファインプレー!OUT!!」

会場歓声

吉川「助かったら、菜野花」ハイタツチ

菜野花「はい、ハイタツチ!じゃない!もうあれは禁止!」

ホットドッグ「菊間、拳を高く上げながら固まっています!言葉が出ません」

早坂「彼女、アイドルじゃなくて女子プロの方がいいでしょ」

未夕「かやたん、ナイスバッティングです!」

夏夜「あんただけだよ、そう言ってくれるのは(泣)」

ホットドッグ「2死2塁、打席には久美菜々美が入ります」

菜々美「今年であたしは17歳！

セブクラ打法!!」

会場笑い

ホットドッグ「出ましたセブクラ打法！17歳の少女が燃えています！」

志保「速い真っ直ぐで」

カキン！

ホットドッグ「高く上がった打球はどこに落ちる!?久美シングルヒットだ！」

菜々美「バツティングセンターの効果ね！」

早坂「彼女はもう芸人だね」

ホットドッグ「2死1・3塁の場面、WUGの勢いが止まりません。バッターボックス

スには片山実波」

ティナ「もう一回、プロ用の球種を使いたいけど・・・あの子の笑顔の前では無理ね」

カキン！

ホットドッグ「打ったボールは高く上がった！」

I—I「キャッチャー!!」

ホットドッグ「ボールが落下し、ファール！リアル野球盤にキャッチャーフライはあ

りません」

萌歌「取つてよキャッチャー!」

ティナ「それはキャッチャーでしょ!」

会場爆笑

ホットドッグ「頑張れキャッチャー、負けるなキャッチャー(笑)」

佳乃「すごい、必死じゃないですか!」

玲奈「気を取り直して、カーブ投げてないよね?カーブで」

カキン!

ホットドッグ「命拾いした田中は打った!大きい!大きい!2BH!!1-5で突き放した」

美波「やった!けどおなかすいたなあ・・・」

藍里「美波ナイス!はいこれゆべし食べて!」

美波「わー、あいちゃんありがと!」

ホットドッグ「ここでまさかのモグモグタイムだ!ですが会場全体がほっこりしたムードとなっています!」

大田「うむ、良い雰囲気だ」

ホットドッグ「2死2・3塁打順は先頭で七瀬佳乃！余裕なステップで軽快に打席に入ります！」

萌歌「あえて遅いストレートで！」

カキン！

ホットドッグ「またもセカンド抜けた！転々と転がり2BHゾーンへ」

萌歌「なんであれが抜けるのー！ー！」

佳乃「私も2ー2、BOOOM！BOOOM！」

ホットドッグ「2回裏、林田が凡退に終わりましたが、1ー7。

どうしても追いつきたい1ー1！運命の女神はどちらに微笑むか!？」

野球をやろう!!その6

〈3回表〉

ホットドッグ「ゲームは中盤に入り、1―7とWUGチームが大きくリード。なんとか巻き返したい――ですが先頭バッター吉川が凡退し1死、続く相沢が打席へと入ります!」

藍里「菜野花さん、アウトでしょ!?アウト、ああ、アウトね」b

菜野花「覚えとけよー!」

未夕「もう一回聞きますけど、アウトですか?」

菜野花「お前、覚えとけよー!」(#。∩。)

ホットドッグ「挑発を受けて吠えています相沢菜野花!」

藍里「速い真っ直ぐで行きます。」

未夕「ビッシビッシ行って凡退させましょう!」

カキン!

ホットドッグ「まずは塁に出たい相沢、速いボールを打ち上げた！高々と上げたボールはライト方向へ落ちる！近くには3BHゾーンもあるが転がるか!？」

愛「入って！お願い!!」

ホットドッグ「ギリギリ届いた3BH!!」

菜野花「やったー!!」

愛「ナイス、スピン（笑）」

藍里「運良いなあ〜」

ホットドッグ「1死3塁で反撃のチャンス、打席には岩崎志保！ここで一本出したい！」

真夢「遅いストレートでお願いします」

カキン！

ホットドッグ「痛烈な当たりが三遊間を抜けた！タイムリーヒット！1点を返しました！1ー1の反撃が始まります!!」

志保「ヨシッ！」

真夢「あれは打つんやな」

ホットドッグ「尚も1死1塁、小早川が入ります!」

夏夜「これでゲッツーにしたいから、カーブで」

カキン!

ホットドッグ「右方向へ強い当たり!3BHかダブルプレーか!」

ティナ「行つたでしょ」

ホットドッグ「あゝつと、ダブルプレー!!当たりは完璧でしたがまさかのダブルプレー!セクシー対決を制したのは菊間だ!!」

夏夜「とりあえず狙い通りだけど、なんかあの実況ムカつく」

未夕「まあまあ落ち着いてくださいよー」

ホットドッグ「3回裏の攻撃、岡本、島田、菊間で迎えたWUGの攻撃ですが3者凡退。2-7です。ここまでの試合をどう見ますか?早坂さん」

早坂「そうだね、7点を取ったおいもちゃんは、打ってランナーを返してるから実力はあるよね。」

「だけどI-1も差はそんなに無いからチャンスの場面でいかに能力が発揮できるか。それがこの勝負のカギを握ると僕は思うよ。」

野球をやろう!!その7

〈4回表〉

ホットドッグ「I―Iチームここで代打を送るようです!バッターは高科里佳だ!

I―Iでは岩崎志保のアンダーを担い、岩崎の移籍後もレギュラーメンバーとして活躍しています!」

里佳「うう、皆さんポンポン打ってますけど、私に打てるかなあ・・・」

志保「里佳、ちよつといい?」

里佳「は、はい!何でしょう?」

志保「どう?緊張してる?」

里佳「はい、とつてもしてます!三振したら嫌だなとか、もしボールが体に当たった
ら怖いとか考えると

足がすくんじやって:..」

志保「確かにそれは怖いわね。

でもね里佳、怖がって振らないより勇気を出して思い切って振った方が気持ち良くな
い?」

里佳「それは確かにそうですけど…」

志保「あなたなら大丈夫よ。だって私の代わりにセンターをこなせているんだから。

思い切ってバットを振りなさい。そうすればファンの皆も、私らも、誰も何も言わな
いからね。」

里佳「志保さん・・・分かりました！私、頑張ります！」

ホットドッグ「岩崎と何を話していたのか分かりませんが、気合十分打席に向います
!!」

麻衣「りかっちー!!頑張れー!!」

玲奈「ボールをよく見て！」

志保「里佳ー、思いっきりねー！」

ホットドッグ「声援を背に受け、期待に応えられるか！」

里佳「ボールをよく見て、思いっきり、えい！」

カキン！

ホットドッグ「打った！打球は三遊間！ヒットで出塁しました！高科里佳!!」

里佳「嘘、私、打てた！やったー！」

志保「里佳! 凄いわ! 流石自慢の後輩ね!」

里佳「志保さんありがとうございます! (泣)」

ホットドッグ「無死1塁! 反撃が始まります! ここで再び代打が入り、バッターはネクストストームの水田綾!

博多のお嬢様はチャンスを広げられるか!

綾「私達も負けてられませんわ!」

藍里「カーブ行きます!」

カキン!

ホットドッグ「変化球を投げた! ライト方向に打球が飛ぶ! なんとフェアゾーン、タムリー3BH!」

綾「やりましたわ!」

ホットドッグ「高く上げた拳! 水田綾が決めた3-7! 無死3塁で続くバッターは代打ネクストストーム森名能亜!」

早坂「彼女はマイペースみたいだけど、だからこそ自分のペースで打球を捉える事ができると思ってるよ!」

能亜「えっと、バットは短く持って、肩幅ぐらいに足を広げて、少し膝を曲げて、楽に構えるっと」

カン！

ホットドッグ「マシンがボールを放つ、打った！高々と上がったボールは落下点でブレーキが掛かる！1OUT！

能亜「ああ、やっちゃいました」

日向子「能亜、ドンマイドンマイ！」

ホットドッグ「続いているバッターはネクストストーム藤崎日向子！

持ち前の積極性でランナーを返せるでしょうか!!」

日向子「実は秘策があるんだ」

綾「秘策ってなんですか？」

日向子「ヒントはタイミングだよっ！」

能亜「タイミング??」

志保「ああ、そういうことね、大きい頼むわよ！」

日向子「任してください！」

能重「志保さん、タイミングってどういうことですか?」

志保「多分だけどあの子、狙い球を絞っているのよ。それでその狙い球がどんなテンポでくるか」

恐らく自分の中でカウントしていたのね」

綾「日向子、恐ろしい子ですわ!」

里佳（なんか、いいなあ・・・）

佳乃「とりあえずアウト取ったけど、流れはまずいね」

真夢「ここで断ち切ろう。速いストレート!」

ホットドッグ「球種が決まり、投げた!」

日向子「1、2の3!」

カツキーン!!

ホットドッグ「打ったー!強い当たりがレフト方向へ!2BH!!藤崎日向子ここで結果を出しました!」

日向子「秘策成功!!やったね!」

綾・能亜『おかえりー!!』ハイタッチ

麻衣「ネクストストームやるわね!この回逆転するよ!!」

真夢「ボール読まれてた、ごめん」

佳乃「まゆしい切り替えていこう!」

ホットドッグ「4―7と追い上げを見せるI―1チーム!ここで打順は戻り、3番相沢です!」

佳乃「戻ったね、ダブルプレーちようだい、ちようだい!」

菜野花「・・・」(真剣な眼差し)

佳乃「・・・なんか言わんのかーい!」

会場爆笑

ティナ「メンタル強いわね」

佳乃「速い真っ直ぐ!」

カキン!

ホットドッグ「右中間に飛んでいく!タイムリ―2BH!5―7!」

菜野花「イエーイ!!どんなもんよ!」

麻衣「菜野花ナイス!」ハイタツチ

佳乃「くうー!!」

美波「よっぴー、熱くなっちゃ駄目だよ」

ホットドッグ「岩崎志保、小早川ティナが凡退。4回表、5―7と追い上げたI―I
チームです!WUGチームは突き放せるのでしょうか!」

野球をやるう!!その8

く4回裏く

ホットドッグ「4回裏の攻撃、5ー7と面白いゲーム展開になってきました!

おっとここで、WUGチームも代打作戦に出るようです!」

早坂「代打?もう3年近くここで野球やってるけど、そんなおもしろいもちゃん出てきてないでしょ」

ホットドッグ「・・・なんの事でしょうか!それではどうぞ!!」

歩「位置についてく」

RGR「よいい、ドン!」

歩「私達、」

RGR「Run Girls, Run!です!!」

大田、浅津、屋沢、城本「ランガちゃん〜くん!!!」

美波「わー、ランガちゃんだー!」

菜々美「なんだか久しぶりね!」

歩「お久しぶりです!」

音芽「加勢に来ました!」

いつか「頑張り、ます。」

ホットドッグ「さあ、バッターボックスに入りますは、RGRの阿津木いつかです!

クールビューティ流れを変えられるか!」

菜々美「いつかちゃん、頑張り!」

ホットドッグ「構える阿津木!マシンが投げた!

いつか「っ!」

カツキーン!!

ホットドッグ「打った!良い当たり!行っただか!行っただか!ダブルプレー!

痛烈な当たりは、ダブルプレーでしたがランナーがいなかったので1OUT!

玲奈「良い当たり打つね」

菜野花「ホームランかと思ったく」

いつか「I-clubが間近にいて緊張して打ち損ねた・・・」

音芽「打ち損ねてあそこまで飛ばすの!」

ホットドッグ「死無罌、打席に立つ守島音芽!点差は2点、得点のチャンスを作つ

て行きたい！」

音芽「私はあそこまで飛ばせないけど、ヒットなら・・・！」

カコン

ホットドッグ「打った！フラフラつと上がった打球はどこだ？

鈴木萌歌が追っていく！転々と転がり見届けます」

萌歌「はい、アウト！」

ホットドッグ「鈴木萌歌、嬉しそうにガッツポーズします！これで2OUT！」

(会場笑い)

歩「実は私達も秘策を用意してきました！」

真夢「ホント？どんな秘策なの？」

歩「それは、これです!!」

藍里「わ、すごい!!」

歩「行つてきますね！」

歩「I—Iの皆さん！私は今日この日を1年間待ってました！

青葉色バット！略して青バット!!見ててください！ランガ魂！若葉打法!!」

未夕「歩ちゃん、いけー!」

ホットドッグ「若葉打法炸裂となるのか、速志歩!」

麻衣「遅いストレートで行きます」

カキーン!!

ホットドッグ「打ったー!」

愛「嘘!」

ホットドッグ「センター方向、良い当たり!!・・・あれ!」

歩「やめて!やめて!」

ホットドッグ「まさかのファインプレー!!」

歩「うわあああああー!」

ホットドッグ「青バットが泣いている!!」

歩「くっそおお!!」(悲劇のBGM)

(会場爆笑)

真夢「いや、この演出・・・?」

菜野花「もったいない!もったいない、そのバット」

ホットドッグ「ファインプレーゾーンに打球が吸い込まれていきました！」

夏夜「私達がい●ローゾーンを使ってしまうとは・・・」

菜々美「お疲れー！もう少しだったけど、あの打球は凄かったわ！」

美波「そうだねー！、お疲れ様！」

歩「ななみんさん、みにやみさん・・・ありがとうございます!!」

野球をやろう!!その9

〈5回表〉

ホットドッグ「ついに試合は最終回！2点を追いかけるI—1チームの攻撃、5—7

！

この回、先頭は鈴木玲奈からです！早坂さんどう見ますか？」

早坂「もう、ここまでできたら自分達が出来ることをやるだけだね。

ていうか、目が怖い」

ホットドッグ「今日も気合十分！完全に真剣勝負の表情です。」

佳乃「カーブ行きまーす」

カキーン!!

ホットドッグ「打ったー！良い当たり！どこまで伸びる!？」

志保「行け！伸びろー！」

玲奈「あ、ヤバイ！」

ホットドッグ「おっと、ダブルプレーI O U T！痛烈な打球でしたが飛んだ先はダブルプレー!!」

藍里「好きだね、好きだね！」

玲奈「はぁー……」

愛「惜しい！ドンマイ!!」

ホットドッグ「さあ、流れが止まったのか、それとも続いているのか！ここで鈴木萌歌!!」

未夕「ここを抑えるか、どうかか大事ですねぇー」

麻衣「頼んだよ、萌歌！」

真夢「ストレート行きます」

ホットドッグ「まずは塁に出たいが、抑えられるかWUG！打てるかI——I！」

カキーン!!

ホットドッグ「良い当たりだ！しかしダブルプレーもあるぞ!?!」

夏夜「ダブルプレー、来て！」

玲奈「行け！行け！」

ホットドッグ「どっちだ！なんと2BHだー!!頼りになる鈴木萌歌!!」

菜々美「くそー!」

ホットドッグ「まだ分からないこの試合!1死2塁で近藤麻衣が打席に入ります!」

麻衣「同点ホームランしかないわね」

美波「ここはアウト取っておきたいね」

佳乃「そうだね、繋がっちゃうかも」

藍里「まあ、カーブは手が出ないでしょ!

カーブで!!」

ホットドッグ「さあ、ホームランなら一気に同点です!近藤麻衣、意地をみせられる

か!？」

カキーン!

ホットドッグ「打ったー!しかしファーストライナー、2OUT」

愛「ああー!もう少しで抜けられた!」

ホットドッグ「1ー1チーム追い込まれた!」

未夕「後、一人!後、一人!」

麻衣「あかん！」

菜野花「まいまい、キャラどこ行った」

ホットドッグ「2死2塁の緊迫した場面、打順は吉川愛に回ってきます！」

志保「ホントに、お願い！」

真夢「真っ直ぐ行きます」

ホットドッグ「さあ、WUG 対 I—1！夢の対決もいよいよ最終回2アウト！

ホームランが出れば同点、吉川愛、WUGを打ち砕くか、それとも最後のバッターになつてしまうのか!!」

ティナ「行け！ホームラン！」

カキーン!!

ホットドッグ「打ったー!!」

玲奈「詰まってる！」

ホットドッグ「詰まった当たりはどこに落ちるか!?

出ましたヒットゾーン！まだ分からないI—1の攻撃!!」

萌歌「ナイスー！」

夏夜「切り替えて、次で抑えよう！」

ホットドッグ「2死1、3塁！ホームランで逆転です！勝負の打席を迎えました！」

菜野花「プレッシャー、ハンパないわー」

ホットドッグ「チームの勝利がそのバットに掛かっています！」

菜々美「カーブ行きます」

カキーン！

ホットドッグ「打ったー！しかしファールです」

美波「気迫がすごい・・・」

菜野花「んなあぁー！もったいない！」

ホットドッグ「相沢菜野花、狙っています！」

佳乃「スイングがプロみたいだね・・・」

藍里「ここは真っ直ぐで！」

菜野花「ふうー・・・」深呼吸

ホットドッグ「さあ、気持ちを込めます！プレッシャーと向き合い、そして結果を残す事ができるのか！」

カツキーン！

ホットドッグ「三遊間抜けた！タイムリーヒット！！6対7！！

1点を返した1ー1チーム！」

菜野花「WHOOO〜！！」

麻衣「流石ね！」ハイタツチ

愛「良くやったね！」ハイタツチ

菜野花「ありがとう！！しほっち、後は任せたよ！！」

志保「絶対に打って見せる・・・！！」

ホットドッグ「さあ、これで2死1、2塁！3BHで逆転サヨナラです！！

ここで最も頼りになるこの人が打席に立ちます！岩崎志保だー！！」

真夢「真っ直ぐ行きます！」

志保「真夢、絶対に負けないから」

真夢「志保・・・全力で行くよ！」

カキン

ホットドッグ「どうだ!?フアールです」

夏夜「ふうー、心臓に悪い」

ホットドッグ「WUGとI-I-Iの試合もいよいよ大詰め!緊張した空気が走っています。」

ティナ「さあ、ここから!ここから!」

真夢「カーブで!」

カキーン!

ホットドッグ「続いた!続いた!IBH!!満塁です!!」

志保「やったー!!」

ホットドッグ「岩崎志保、ガッツポーズをしています!I-I-Iの勢いが止まらない!!」

志保「ティナ、最後はお願いね」

ティナ「必ず打って見せるわ」

玲奈「まるで漫画みたいね・・・」

ホットドッグ「さあ、2死満塁!試合はクライマックスを迎えました!このままでは

終われません！」

全ては小早川ティナに託されました!!」

夏夜「最後は渾身のストリートで！絶対に抑えよう！」

ホットドッグ「勝負の行方は・・・!?!」

カン！

ホットドッグ「打ち上げたー！高々と上がった打球はどこに行く!?!」

萌歌「あぁー！ヤバい!!」

菜々美「嘘!?!」

美波「まさか!?!」

ホットドッグ「内野フライだ〜！アウトです!! Wake Up, Girls! 見事勝

利〜〜!!」

野球をやろう!!その10

佳乃「勝った・・・」

WUG「やったあああああ~~~~~!!!」

ホットドッグ「Wake Up, Girls! 肩を抱き合い喜びを分かち合っています!ここで一旦、グラウンド整備を行います。」

皆さんはベンチにてお待ちください。また、会場のお客様もしばらくお待ちください」

「I—Iベンチにて」

白木「オッホン」

志保「白木さん!」

白木「皆さん、とりあえずはお疲れさまでした。」

最後の追い上げは良かったと思います」

I—I「・・・」

白木「がしかし、序盤の時点でもっと点が取れたのでは無いですか？

私は言ったはずですよ。こてこてのばんばんにしてやりましょうと。」

愛「すみませんでした」

白木「まあ、終わってしまったことはしょうがないですが、次はそうはいきません」

菜野花「え、あの、次つてのは・・・？」

白木「最後、もうイーニング勝負をします。これがラストチャンスです」

志保「あ、ありがとうございます！」

「——」ありがとうございます!!」

白木「私は上で観ているので頑張りなさい。

それでは。」

菜野花「ふう・・・」

テイナ「白木さん良い所あるじゃん」

玲奈「絶対に最後、勝ちたいね！」

萌歌「萌歌なんて、全然打ててない!!」

里佳「私達はとりあえず出番終わりましたけど、皆さんが勝つ所見たいです！」

綾「そうですね！皆さんと一緒に勝ちたいですわ！」

能亜「お客さんにも喜んでもらいたいですし」

日向子「最後まで応援するので、逆転してください!」

麻衣「皆、いつものあれやろう!!里佳も綾ちゃん達も入って!」

愛「皆でやるのは初めてだね!」

麻衣「そうだね、それじゃあ・・・」

麻衣「誰よりも激しく!誰よりも美しく!誰よりも正確に!」

I-I-I club、行くぞ!

全員「オオオオオオーーーーー」

!!!!!!

WUGベンチ

大田、浅津、屋沢、城本「WUGちゃん!ナイスゲーム!!」

丹下「皆、お疲れ様!」

WUG「お疲れ様でした!!」

丹下「いい試合だったわ」

松田「いや、ホントにお疲れ!

まさか勝つなんてなあ」

美波「松田さん、ひどい!」

真夢「あれ?I-I-Iチームがホームベースに集まっている」

未夕「あ、ほんとだ！」

佳乃「私達も行くこう」

ホットドッグ「おつと、近藤さんどうされましたか？」

麻衣「あの、もうイーニングだけやらせてもらえないでしょうか・・・」

ホットドッグ「えっ!?それは・・・」

運営とWake Up, Girls!さんの方に聴いてみないとなんとも・・・」

佳乃「まゆしい、どうする？」

真夢「私はいいいけど、皆はどう？」

藍里「私もやりたい!今日ヒット一本だけだし」

未夕「藍ちゃんはいいいじゃないですか!私なんてノーヒットですよ」

夏夜「そうだねえ、序盤の活躍しかないから私もやりたいな」

菜々美「やるならトコトン!やらなきやね」

美波「私も賛成く!けど、お腹すいたなあ・・・」

ホットドッグ「今、確認を取りましたが、延長イーニングだけなら良いという事です

!」

麻衣「ありがとうございます!後、マイクお借りしますね」

麻衣「会場の皆さん、私達もうイーニングさせていただけることになりました!最後まで全力プレーで頑張るので、応援よろしくお願いします!!」

全員「よろしくお願いします!!!」

(会場拍手)

大田、浅津、屋沢、城本「イーも頑張れー!!」

ホットドッグ「会場からの熱い声援ありがとうございます!!」

ここから延長戦スタートです!!」

早川「僕聴いてないんですけど、まあいいや」

野球をやろう!!その11

〈延長6回表 6―7 〉

愛「1点差でしょ?」

菜野花「よし、イケるイケル」

志保「逆転するぞ!」

全員「オー!!!」

ホットドック「さあ陣を組みました、I-I-Club!

負けた悔しさをバットで返したい!1億円を手にするのはどちらのチームか!」

ホットドッグ「この回トップは鈴木玲奈からだが、

おっと高木が出てきた!」

未夕「さあさあ、I-I-Iさん!今日何本ヒット打ってるんですか?」

玲奈「0本です」

未夕「白木さんが泣くぜ?です」

玲奈「打ちます!」

ホットドッグ「挑発を飛ばした鈴木玲奈、
まずは塁に出たい！」

佳乃「チェンジアッパ行きます。

力が入ってるからね、スライダーとか狙ってると思うんだよね。
けど、それより遅いボールだよ、玲奈さん！」

ホットドッグ「さあ、真剣な表情になりました、逆転勝利へ向け大事な大事な先頭バッター！」

カキーン！

ホットドッグ「打ったー！塁に出ました1BH!!同点のランナーが出ました！」

未夕「これが1ー1のすごさですね」

夏夜「あんたねえ・・・」

ホットドッグ「無死ランナー1塁、ホームランが出れば逆転！」

さあ鈴木萌歌です、気合十分!!」

藍里「目が本気になっちゃってる、目が」

萌歌「・・・」
「●●」
「」

ホットドック「完全に無視です（笑）」

藍里「ヤバいなあ、怖い怖い！」

こういう時はスプリットつだよね。

縦の変化が一番キツイはず」

カン！

ホットドック「打ったー！センター方向良い当たりですがどこで止まるか」

まゆしい「お願い！止まって！」

ティナ「曲がって曲がって！」

ホットドック「出た出た出た！鈴木萌歌、1BHです！」

萌歌「よし、萌歌これで2本目！」

ホットドック「無死からチャンスを広げた1塁2塁！

ここでトップに帰って近藤麻衣！」

玲奈「止まらないよ、ここから！」

真夢「ストレートで行きます」

夏夜「ゲッツーになってほしいね」

萌歌「頼んだよ、まいまい」

ホットドック「1ー1のリーダが逆転勝利の一打を放つのか!? 3BH以上で逆点!!」

カキーン!!

ホットドック「打ったー! センター方向! 痛烈な当たり!!」

麻衣「ダブルプレーにならないで!」

菜々美「ダブルプレー、ダブルプレー!」

ホットドック「ダブルプレーか2BHか!? 3BHもありえるぞ!!」

麻衣「お願い! お願い!」

ホットドック「出たー!! 近藤の逆転3BH!!!」

麻衣「いやつつたー!」

愛「まいまいすごいよ! 逆転だよ!」

麻衣「大事な場面で打てて本当に良かった!」

美波「逆転された・・・」

菜々美「やっぱいいわね」

ホットドック「さあこれで、無死3塁、8ー7!

試合をひっくり返しましたI—l C l u b!!」

早坂「土壇場に強いね、I—l」

夏夜「次の愛さんで取ろう！」

速いストレートで」

カキーン!!

ホットドック「良い当たり！伸びてゆく2BH!!

吉川愛もタイムリー9—7！」

麻衣「愛もナイス！」

愛「さつきまで皆、怖い顔してたから良かったー！」

美波「ねえよつぴー、止まんないね」

佳乃「本格的にヤバいね」

ホットドック「続く相沢が倒れたものの、岩崎志保が2BHで1点追加し、この回なんと4得点の10—7！」

逆に追い込まれたWake Up, Girls ! 延長6回裏に突入です!!」

野球をやろう!!その12

↳延長6回裏 10-7 ↳

ホットドック「さあ、いよいよ6回裏最終回!

3点を追いかけるWUGの攻撃です!!」

佳乃「積極的にチャレンジしていこう!」

藍里「打ち損じても励ましていこう!」

未夕「笑顔でいきましょう!」

真由「自信もっていこう!」

夏夜「良いプレーは声出していこう!」

菜々美「チャンスは何度でも来るから!」

美波「諦めないでいこう!」

佳乃「行くぞ!」

夏夜「がんばっぺ!」

全員「Wake Up, Girls
!!!」

ホットドック「WUGの円陣が決まりました！

この回トップは林田藍里から」

藍里「行くぞ！」

菜野花「遅いストレートでいい？」

愛「初球、遅いのいこうか」

菜野花「遅い真っ直ぐいきます」

菜々美「藍ちゃん出て勢いつけたいよね」

美波「藍ちゃん、がんばれー！」

カキン！

ホットドック「この回、塁に出たいところだが打った！

しかしサードゴロ！一気にWUGチーム追い込まれた」

藍里「ああ、悔しい！」

夏夜「藍ちゃんドンマイドンマイ」

佳乃「でもまずいなあ」

ティナ「勝てるよ これ」

ホットドック「まずは塁に出たい岡本未夕！なんとしてもチャンスを作りたい！」
志保「まずはカーブで！」

カキーン!!

ホットドック「打ったー！良い当たり！2BH」

未夕「やりましたー！初ヒットです!!」

真夢「未夕ナイス！」

実夕「まゆしい！一発お願いしますよ！」

ホットドック「1死2塁となつて打席には島田真夢！今日は2安打2打点！

長打でWUGを引っ張っています！」

愛「真夢！そろそろ吉川愛打法やって！」

真夢「吉川愛打法は、なんか怖そうだからやらへんわ!!」

(会場笑い)

真夢「ここは●本●憲打法や!!」

ホットドック「阪●が誇るレジェンド！数々の伝説を生んだスーパースターですが

島田真夢はなぜ関西弁なのか、なぜ阪神なのか気になるどころです！どうですか早坂

さん」

早坂「そんなの僕は知ったこっちゃやないよ」

テイナ「速いのでファール取ろう」

WUG「まゆしい！まゆしい！まゆしい！」

ホットドック「まゆしいコールが響く楽●生●パーク、このまま終わってしまおう訳にはいきません！」

コス・・・

ホットドック「勢いのない当たりはピッチャーゴロ、2死！」

真夢「あかん！やってもうた!!」

1ー1「後一人！、後一人！」

ホットドック「後一人コールのお返しを貰うWUG」

真夢「うう・・・」

佳乃「ま、まあドンマイドンマイ！次があるって！」

真夢「夏夜・・・頼んだよ・・・」

夏夜「大分シヨック受けてる（汗）」

でも、いつちよいきますか!」

ホットドック「2死2塁、迎えるバッターは菊間夏夜!青バットを手にしました!」

夏夜「みんなの思いを、みんなの思いを!オラにくれ!!」

(会場笑い)

ホットドック「なんと菊間、ネタに走りました!

ですがその目は死んでいない!!」

美波「ちよ、ちよつとかやたん!」

萌歌「あの子で最後ね」

夏夜「ドラマはここから始まるのよ!」

ホットドック「手にした青バットで輝きを手にすることはできるのか!」

菜々美「かやたん1本!」

玲奈「カーブで」

ホットドック「一度は手にしたアイドルの祭典のチャンピオン、ですが以降はあまり

思うように

アイドル活動がうまくいきませんでした(※2期参照)

しかし再起したWake Up, Girls! 全ての思いをこの打席に菊間が込

めます!!」

カキーン!!

ホットドック「二遊間を抜けていくかどうかどうだ! ダブルプレーか2BHか!?

ホットドック「菊間夏夜、若葉打法が炸裂2BH! 10-8!!」

未夕「キャー! かやたん、最高です!!」

美波「かやたん、おめでとう!」

夏夜「どんなもんですよ!」

ホットドック「さあWUG! 奇跡の逆転勝利なるか、尚も2死2塁! 打席には久美

菜々美!!」

菜々美「野球は2死から! 2020年 徳島名物 阿波踊り打法! ヨイサー!!」

(会場笑い)

ホットドック「もう訳が分からない! 阿波踊り打法が出た! 彼女は山形出身のはずです
が・・・」

早坂「はあ・・・」(溜息)

美波「ななみん、阿波踊り好きだもんね」

麻衣「カーブカーブ」

ホットドック「点差は2点差、逆転勝利が見えてきました。

ここで繋げられるのか、それとも最後のバッターになつてしまうのか!？」

カキン！

ホットドック「打った！サードをギリギリ・・・」

野球をやるう!!その13

↳ 延長6回裏 10-8 2死2塁 ↳

ホットドック「打った!サードをギリギリ・・・」

ホットドック「抜けた! 2BH!! 久美も繋いだ! これがりアル野球盤!! 何が起こるか分からない!! 10-9!!」

菜々美「やった! やった!!」

藍里「ななみん、すごい!」

真夢「すごいよななみん!」

菜々美「あ、復活したんだ! ありがとう! まゆしい!!」

ホットドック「久美のあたりは紙一重、ありがとう阿波踊り!

そしてここで片山! コンスタントに2打席2安打2打点をマーク!! WUGに流れが来ている!!」

志保「ヤバいわね・・・何で行く?」

ティナ「・・・投げるボール無いわね」(笑)

ホットドック「ホームランが出ればサヨナラの場合ですが・・・」

おっとここで、IーIチームがピッチングマシンの裏から全員出てきました！
麻衣「・・・スツ」指4本

(会場大爆笑)

夏夜「おいおい！勝負だろ！ああん!?」

未夕「ちよ、か、かやたん！お、落ち着いてください!」

夏夜「フウ！フウ!」

菜野花「勝負勝負！これが勝負!」

ホットドック「なんと敬遠ですか?」

玲奈「当たり前でしょ!どう考えても!」

(会場笑い)

萌花「次のバッター誰でしたっけ?」

佳乃「えっと、ななみんなが終わって、みにやみが終わったから・・・Me!!」

IーI「ラクシヨール!ラクシヨール! (笑)」

ティナ「敬遠しまーす」

ホットドック「片山美波が敬遠!七瀬佳乃がなめられました!!」

佳乃「・・・なめやがって小娘たち!!ここは絶対、若葉打法だ!」(イン●ー・ジョー

ズのテーマ)

ホットドック「2死1、2塁!3BH以上で逆転サヨナラ!!」

佳乃「絶対におつつける」

麻衣「速いのでどん詰まりかな?」

愛「でも速いの待ってそうじゃない?」

菜野花「カーブか遅いのだね」

麻衣「じゃあ、遅い真っ直ぐ!」

ホットドック「WUGのリーダーがここで決めるか!?その目は燃えに燃えています!!マ
シンが投げた」

佳乃「おおく・・・」

志保「オツケエイ!」

ホットドック「空振りです!」

藍里「よっぴー、頑張つて!」

未夕「続け、続け!」

佳乃「フウー・・・!」

ホットドック「一つ深呼吸、気持ちを落ち着かせました七瀬佳乃!

夢の決戦もいよいよ最終回2OUT!まさにクライマックスを迎えました」

ティナ「カーブ行く?」

玲奈「そうだね」

麻衣「カーブで」

WUG「よっぴー！よっぴー！よっぴー！よっぴー！」

ホットドック「WUGチーム全員で手を握りよっぴーコールをしています！」

ホットドック「WUGとイーの夢の対決はリーダーに託されました!!」

ここにいる全員が歴史の目撃者となります！コールが止み、ピッチャーが投げた!!」

野球をやろう!!その14 (完結)

↳延長6回裏 10―9 2死2塁 ↳

ホットドック「WUGとI―1の夢の対決はリーダーに託されました!!

ここにいる全員が歴史の目撃者となります!コールが止み、ピッチャーが投げた!!」

カ
ツ
ツ
キ
ー
ー
ン
!!!!

ホ
ツ
ト
ド
ツ
ク
「
打
っ
た
ー
!!
右
方
向
!!
逆
転
に
な
る
か
!?
」

萌歌 「嘘でしょ!？」

真夢 「抜けるー!!」

夏夜 「超えろー!!」

菜々美 「切れないで!!」

美波 「飛んでけー!!」

ホツトドック「行つたー!!!逆転サヨナラ3BHーーーーー!!!」

七瀬佳乃が勝負を決めました!!」

佳乃「や、や、やっつたあああああーーーーーーー!!!」

WUG「よっぴーー!!!」

ホツトドック「今、WUGのメンバーが七瀬の所に向い、もみくちやにされています

!!
」

麻衣「良いバッティングだったわね！」

志保「完敗だわ・・・けど次、次こそは負けないんだから！」

愛「けど、楽しかった！」

菜野花「ステージ以外でこんなに熱くなれたの初めてかも」

ティナ「また今度リベンジね」

玲奈「次は負けません」

萌歌「萌歌は今度 MVP 取るんだから！」

里科「次はチームのお役に経てるように頑張ります！」

綾「私達も特訓ですわね！」

能亜「頑張ります」

日向子「ネクストストームの活躍見ててくださいいね！」

白木「・・・」

早坂「何考えてるんですか？」

白木「どうして君がここに？」

早坂「やだなあ質問を質問で返さないでくださいよ。」

どうもお役御免みたいだったから抜けてきたんですよ」

白木「そうか・・・この対決を見ていてアイドルの祭典を思い出したんだ。確かに負けてしまったが、良い試合だった」

早坂「あれ、らしくないですね」

白木「ふっ、そうかもしれないな」

真夢「よっぴー、ホントにありがとう！」

藍里「次は私も負けないんだから！」

夏夜「流石リーダー頼もしい！」

美波「よっぴー、かっこよかったよ！」

菜々美「ドラマチックだったわね！」

未夕「うう、私も、私も・・・」

佳乃「なんで、未夕が泣いてんのよー（笑）でも、皆一緒に戦ってくれてありがとう!!」

WUG「うん！」

歩「よっぴーさん!!」

佳乃「あ、ランガちゃん！」

歩「皆さんお疲れさまでした！」

いつか「決勝打すごかったです」

音芽「感動して泣いちゃいましたー！」

真夢「応援してくれてありがとう！」

丹下「松田ー！今夜は宴よ!!さっさと準備しなさい！」ヒック

松田「社長・・・完全に出来上がってるじゃないですか

ちゃんと見てたんですか？」

丹下「あつたりまえじゃない!!何を抜かしてるんだか！」

いいからとつと準備してこーい!!」

松田「は、はいーーー！」

大田「この対決は歴史に刻まれたいい試合だったな、ありがとうWUGちゃん、I
I・・・!!」

ホットドック「I-I-Club VS Wake Up, Girls! ガチ

ンコ野球対決””制したのは Wake Up, Girls!

おめでとございます!白熱した素晴らしい対決でした!!

皆様、ご声援いただき、ありがとうございました!!
それでは〜!」